

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ラ・ムー羽曳野西浦店	階数	地上1F
建設地	大阪府羽曳野市西浦二丁目	構造	S造
用途地域	指定なし	平均居住人員	700 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	物販店,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年1月 予定	評価の実施日	2021年1月28日
敷地面積	6,567 m ²	作成者	笹原一馬
建築面積	2,731 m ²	確認日	2021年1月28日
延床面積	2,706 m ²	確認者	伊藤公

本図を右クリックし、「図の変更」を選択していただくことで、外観図等を貼り付けることができます。

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	82%
③上記+②以外の	82%
④上記+	82%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

音環境	2.6
温熱環境	2.5
光・視環境	3.0
空気質環境	3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

機能性	2.7
耐用性	2.9
対応性	3.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.8

生物環境	1.0
まちなみ	2.0
地域性・	2.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

建物外皮の	4.5
自然エネ	3.0
設備システ	2.9
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

水資源	3.0
非再生材料の	2.4
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

地球温暖化	3.7
地域環境	3.0
周辺環境	2.7

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
建物ができる限り前面道路からセットバックした計画とした		
Q1 室内環境 特になし	Q2 サービス性能 売場については天井高さを3990mm確保した	Q3 室外環境(敷地内) 特になし
LR1 エネルギー 出来る限りLED照明を採用した	LR2 資源・マテリアル 特になし	LR3 敷地外環境 特になし

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】	建物名称	(仮称)ラ・ムー羽曳野西浦店
	建設地	大阪府羽曳野市西浦二丁目
	用途/区分	物販店

【評価結果】	CASBEE 総合評価		B-
--------	----------------	--	----

①	CO2削減		4
---	-------	--	---

②	みどり・ヒート アイランド対策		2
---	--------------------	--	---

③	建物の断熱性		5
---	--------	--	---

④	エネルギー削減		3
---	---------	--	---

⑤	自然エネルギー直接利用		—
---	-------------	--	---

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—		—
	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		—

エネルギー消費量の報告		報告しない
-------------	--	-------

【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.7	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	4.5	5
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	2.9	3
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—

エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない
------------------	----------------------	---------------	-------

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		